

大正2年(1913)現在  
100年以上30件  
50年以上52件  
+7件  
松江市史料編纂課

19

- 2)『通史編 近現代』構成
- ・第1章 近代松江市域の出発(1871-1889)
    - 第1節 明治維新後の町・村・浦の足どり
    - 第2節 地租改正から殖産興業へ
      - 地租改正、農事改良と農談会、新旧漁業の動き、殖産興業
      - 第3節 暮らしの中の伝統と開化
      - 第4節 町の教育、村の教育
      - 第5節 「東京の中の松江」
  - ・第2章 松江市域の近代的展開(1890-1930)
    - 第1節 松江市と町・村の誕生と発展
    - 第2節 湖海と陸の産業近代化
      - 市村是・産業計画、農林業、水産業、商工業(の展開)
      - 第3節 市民と村民の暮らしと活動
      - 第4節 学都松江と地域の文化
      - 第5節 「県都・軍都・学都」 (+「商都」)

4つの時期・分野

## 2)『通史編 近現代』構成

### ・第1章 近代松江市域の出発(1871-1889)

第1節 明治維新後の町・村・浦の足どり

### 第2節 地租改正から殖産興業へ

地租改正、農事改良と農談会、新旧漁業の動き、殖産興業

#### 第3節 暮らしの中の伝統と開化

#### 第4節 町の教育、村の教育

#### 第5節 「東京の中の松江」

### ・第2章 松江市域の近代的展開(1890-1930)

#### 第1節 松江市と町・村の誕生と発展

#### 第2節 湖海と陸の産業近代化

市村是・産業計画、農林業、水産業、商工業(の展開)

#### 第3節 市民と村民の暮らしと活動

#### 第4節 学都松江と地域の文化

#### 第5節 「県都・軍都・学都」 (+「商都」)

## 4. 『通史編』「2章2節5 商工業の展開」の構成・内容

### 1) 松江の商工業(概観)

・1890-1900年代概観

『松江市十年報』(松江市、1900年) 1889→1898の推移

1890年代-1920年代

組織形態	1889年	1898年
株式	4	7
合資	0	4
合名	0	2
支店	0	2
合計	4	15

業種別会社	1889年	1898年
銀行	1	5
物品製造	1	3
物品販売	3	4
保険	0	1
電灯電力	0	1
運輸	0	1
合計	5	15

1895年  
←10社

各種工場	1889年	1898年
製糸場	1	3
織物	1	12
鐵器	0	1
造船	0	1
活版	0	3
合計	2	20

機工数  
機工数: 1894年1(49)  
織機: 1894年1(15)  
精米: 1896年1(10)

- 松江蚕業株式会社
- 松江銀行
- 松江電灯株式会社

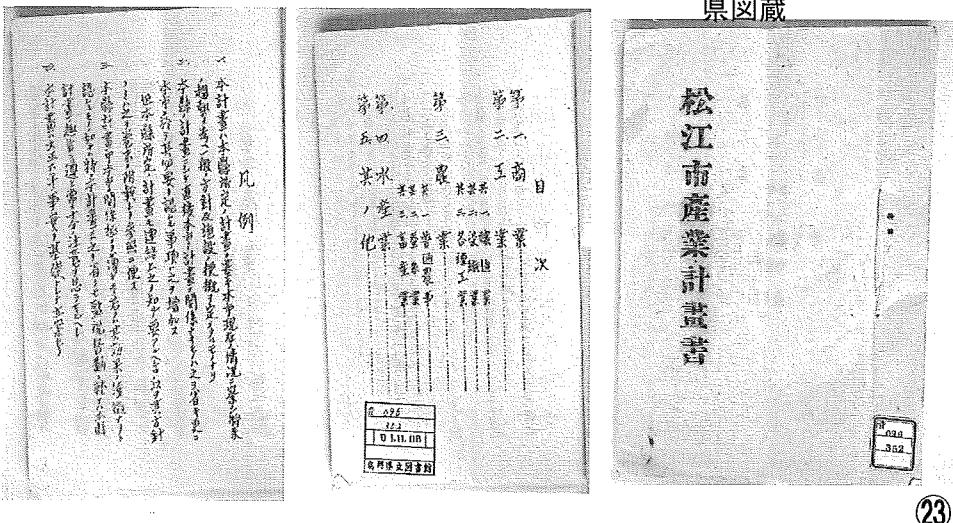
21

## ・1910年代概観: 『松江市産業計画書』 → 松江の商工業の概観

(「本計画は大正六年ノ事実ヲ基礎トシテ立案」)

商業<山陰ノ中枢、地方物貨ノ集散、水陸交通ノ便、商業は本市の基礎、商業範囲県内>  
工業(①醸造業<清酒、醤油、酢の現況、工業製品の首位、優良品非ず、市内需要>、②染織業<往時八雲縮盛況>、③各種工業の現況<工業は概して不振、小規模、非工場的組織、地方需用ヲ充タスノミの現状、改良方向は技術技能改良・職工養成・市場開拓・経営改革・連携>、各種工業の概要(課題・対策について解説): 1.八雲漆器、2.瑪瑙製品、3.造船業(休戦後不振、対策として大橋川浚渫急務、事業ノ合同・共同化、優良職工養成等)、4.機械製品(最近異常ノ発達、対策は優良な職工養成等)、5.竹木製品、6.缶詰業(小規模、製品未統一、販売ノ利少、対策は共同製缶所設置等)、7.銅鉄器、8.家庭手工艺品(家庭的手工業、副業、余剰労働力利用。老幼婦女子向け育成)、9.木蝋業、10.足袋製造業、11.石工品、12.菓子(掛け物菓子流行シ京阪市場から流入、対策として製品改良)、13.和洋服、14.度量衡器製造業、15.硝子製品

22



23

## 松江の各種工業概況(1917年調査)

各種工業	製造戸数	職工数	製産額 円
1.八雲漆器	20	70	41,400
2.瑪瑙製品	20	35	36,500
3.造船業	4	250	76,462
4.機械製品	9	131	123,500
5.竹木製品	149	313	174,822
6.缶詰業	3	33	91,185
7.銅鉄器	-	177	97,171
8.家庭手工艺品	8	(22)3,956	19,732
9.木蝋業	8	19	37,776
10.足袋製造業	12	67	11,277
11.石工品	38	118	30,000
12.菓子	147	207	37,881
13.和洋服	87	119	100,000
14.度量衡器製造業	2	12	7,917
15.硝子製品	2	17	9,072

『松江市産業計画書』より

24

## ・1920年代概観: 県図蔵(『新修島根県史史料編6』収録) 『島根県商工統計要覧』(知事官房統計課、1930年)から松江抜粋 ↓

第三 工業  
(蚕糸、清酒、醤油味噌、陶磁器、漆器、缶詰、(製紙)、畳表莫薩花筵、麺類、石工品、主要各種工産物…造船、塩乾物・節製造)

第四 商業  
1. 概況 山陰僻謫、交通不便の地から脱却、山陰線縦貫と伯備線近々全通、商工業革新、商業18,278戸  
2. 会社341社(株式会社、合名会社、合資会社)  
3. 金融銀行本店7・支店72  
4. 商取引、阪神・関門商人との取引中心、移出入: 鉄道移出、海運移入、境港等完成で対岸貿易、品目、移入は綿・肥料・呉服・砂糖・石炭、移出は生糸・糸類・繭・木炭・白米

## 2) 戦間期松江の産業近代化

### ・『松江商工案内』の世界

1924年

#### 国税當業者

(営業・兼業種目・町名・納稅額・代表者名)

#### 銀行会社録(一覧)

(名称・所在地・設立年月・

営業目的・資本金・積立金)

松江銀行等4、日本銀行支店等5

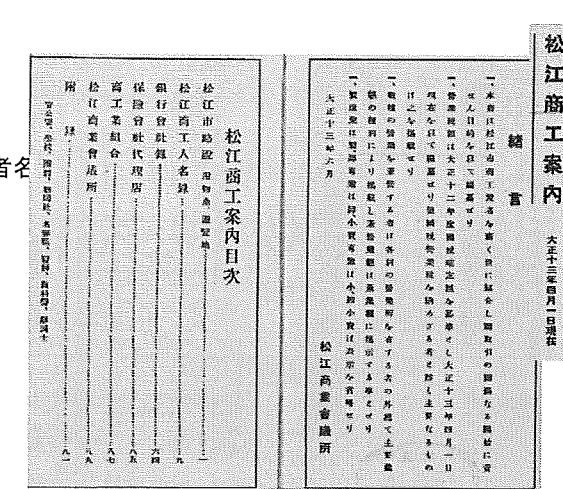
#### 会社

株式27<山陰道産業他、支社含む>

合資4<伊勢宮鉄工所他>、

合名4<中村鉄工所他、支社含む>

その他2



25

## ・1917「山陰道産業株式会社

### 第11期営業報告書 大正6年度」

商品売買好調

朝鮮農業好調(農地210町4反2畝歩、畠37.8町歩等)

66町歩余の国有林貸下・将来有望事業に

阪神出張所開設、肥料他製造

第11期利益分配

一金5万5,507円65錢8厘也

金3万円也(一株二付3円 即チ年8歩ノ割)

当期純益金

金6,750円也

配当金

重役以下賞与金

大正七年三月三十一日

山陰道産業株式会社

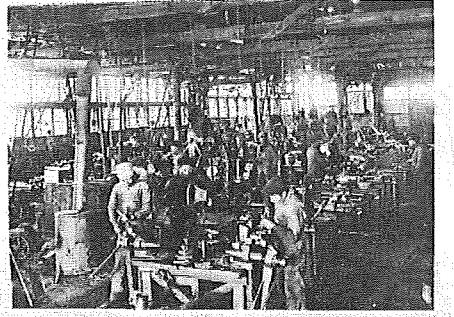
取締役社長 横井弁之助

取締役 並河理二郎 他5名

相談役	監査役	取締役	同副社長	取締役社長	積立金	資本金
横井弁之助	久保田豊吉	山崎多助	天野經三郎	水津直太郎	十萬一千八百圓	五十萬圓
堀谷福太郎	堀谷福太郎	糸屋武太郎	糸屋武太郎	糸屋武太郎	木村小左衛門	木村小左衛門
山本福七	山本福七	梅野秀雄	梅野秀雄	梅野秀雄	松木儀一郎	松木儀一郎

『松江商工案内(大正13年4月現在)』(松江商業會議所、1924)

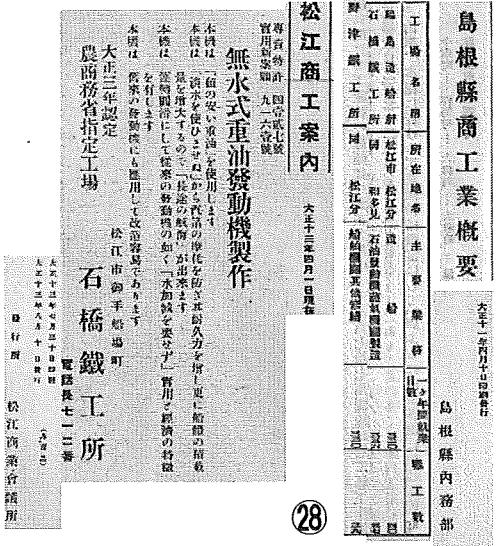
27



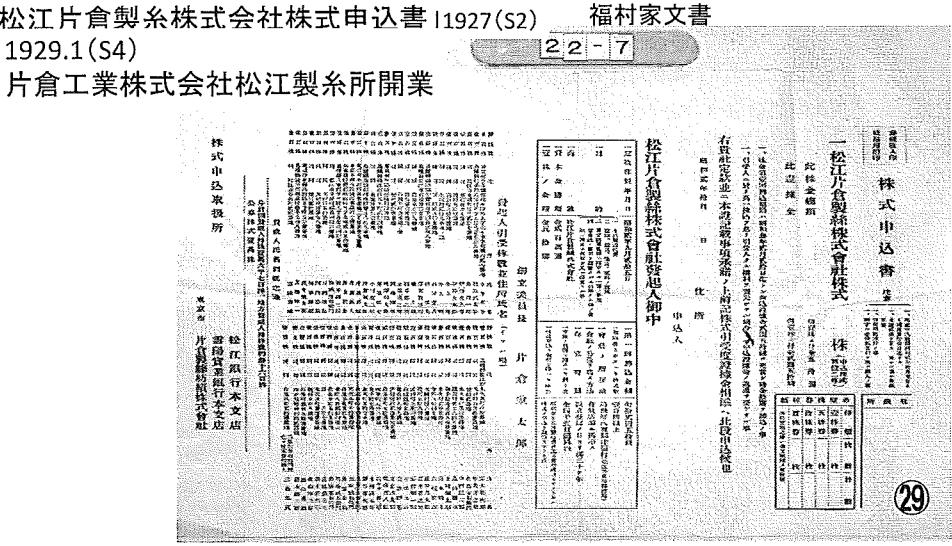
『島根県写真帖』(島根県、1924年)

石橋鉄工所、職工57名(1922年T11)  
1914年(T3)認定(農商務省指定工場)

国立国会図書館  
デジタルコレクションより



(28)



福村家文書  
22-7

『第4回松江工人名録』(1908年)  
議員3等級選挙 「松江商業會議所規約」?

(34)

## 5. 松江商業會議所の組織と活動

### 1) 松江商業會議所の沿革

1879	商工談話会開催(山本誠兵衛)
1887	松江商工会に改名(商工業講話、会長・岡崎運兵衛)
1890	商業會議所条例施行
1894.3	松江商業會議所設立認可(松江市・平田町・宍道村の所得税納入者31名発起人、全国で32番目、中国地方では5番目)
1902.3	改組 商業會議所法による設立認可
1915.3	松江商工会議所創立30周年記念式典開催
1928.10	商工会議所法の施行により、松江商工会議所に改組
1934.3	松江商工会議所創立40周年式典開催
1943.10	戦時下において公布された商工經濟会法により、島根県商工經濟会に改組

前掲『松江商工会議所七十年史』より

(31)

### 2) 商業會議所の設立と議員・役職員

農商務省、1890年9月に商業會議所条例施行

松江は1894年3月16日に農商務省より設立認可

神戸、名古屋・岐阜、東京・大阪・広島と順次、32番目の認可開設

中国5県では広島、下関、尾道、岡山に次いで5番目

山陰・北陸では金沢、富山、福井に次いで4番目

#### 全国の設立動向

1 神戸	1890.12
2 名古屋	1890.12
3 岐阜	1890.12
4 東京	1891.1
5 大阪	1891.1
6 広島	1891.1
32 松江	1894.3

#### 中国5県

1 広島	1891.1
2 下関	1891.9
3 尾道	1892.11
4 岡山	1893.2
5 松江	1894.3

#### 山陰以北の日本海側

1 金沢	1891.3
2 富山	1893.4
3 福井	1893.8
4 松江	1894.3

(32)

#### 1936(S11)1現在

1 川谷	薬種商	堅町
2 肥塚	松江銀行専務	北堀町
3 竹内	造船業	東本町
4 古井	呉服太物商	殿町
5 引野	油紙線香石鹼商	北堀町
6 福間	請負業	殿町
7 錦織	砂糖乾物商	雜賀町
8 加田	呉服太物販帳	西茶町
9 松井	葉種商	白潟本町
10 合資)松村弘	帳簿荷札製造、印刷業	寺町
11 松崎	食料品商	末次本町
12 泉	綿布雜貨卸商	北堀町
13 太田	硝子商	白潟本町
14 玉木	米雜穀商	堅町
15 米田	酒造業	東本町
30 森谷	壳菜葉種商	天神
27 井原	醤油醸造業	東茶
28 山本	醤油醸造業	末次
29 欠		
30 森谷	壳菜葉種商	天神

『松江商工人名録』(松江商工会議所、1936年)

(35)

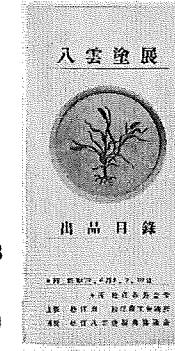
### 3) 松江商業會議所の活動

『松江商業會議所報告』第1号(1895・M28.6)

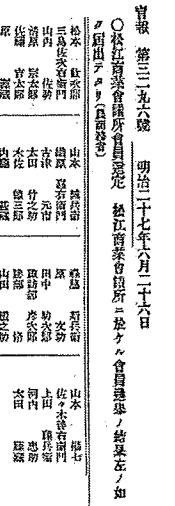
本会議所記事: 設立沿革概要(M27.3認可、前身はM20設立の松江商工会(M12設立の松江商工談話会<山本誠兵衛発起>)、設立発起人松本欽次郎等30名、総会議、役員選挙結果・会頭松本欽次郎、副会頭原源蔵・山本誠兵衛、常議員山内佐助・原文助・古津元市・諫訪部彦次郎・園山伊助、特別会員佐藤喜八郎(市議長)・桑原羊次郎・岡本金太郎(山陰新聞主筆)、会員30名  
11/19開催・議案「日清事件ノ当地商工業ニ及ボシタル影響調査報告ニ關スル件」(商品<停滯・欠乏>、価格、金融、工業・農水産物、鉱業、運輸、労働者他ニ及ボス影響)

雑記: 参照・「全国実業家二檄ス」前田正名、金融及び商況(小売価格動向)

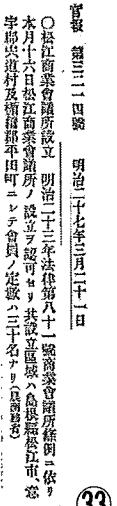
(36)



(30)



(31)



(32)